

『もりすけ通信』 11月号

～学習指導部～



10月はシネマフェスタ、創立40周年記念式典、中学生のための学校説明会と順調に実施することができました。そして今月は久しぶりの「克己踏破会」が予定されています。コースの変更はありますが、さわやかな秋空の下、10キロ走破にチャレンジしてください。沿道より声援を送ります。

ここ最近の新型コロナ感染者数増加の傾向が気がかりですね。一人一人が感染対策に努め、乗り切っていきたいものです。

### 「創立 40 周年記念式典、大成功に終わる！」

去る 10 月22日(土)に創立 40 周年記念式典が行われました。

#### 【第1部】

創立 40 周年記念宣言 「続く未来、進むその先の守谷高校へ」  
守谷高校公式キャラクターの披露・認定  
記念事業実行委員長挨拶、校長式辞

#### 【第2部】

記念講演 演題:「私たちの未来、切り拓く未来」 齋藤優一郎氏(1995 年卒業生)



【翌 23 日(日)の茨城新聞朝刊に記事が掲載されました。その一部を抜粋します。】



櫻井校長は式辞で「先輩たちが築いた伝統を受け継ぎ、新しい時代を生きる人間として地域社会に貢献してほしい」と述べた。

記念講演では、同校卒業生でアニメ映画制作会社「スタジオ地図」代表取締役プロデューサーの齋藤優一郎さんが高校時代を振り返り、「不安を抱え、もがいていた。自分は何者かと葛藤していた」と話した。その上で「バイタリティーを持って新しいことにチャレンジしてほしい。一人一人のチャレンジで世界は変わる。私たちは映画を通してエールを送り続けていきたい」と呼びかけた。生徒会長の天口晃さんは「自分を見直すことの大切さを知る機会になった」と話した。

### 「VUCA 時代と AAR サイクル」

#### ★VUCA(ブーカ)時代とは★

VUCAとは「先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態」を意味します。2010年代に入ると、昨今の変化が激しく先行き不透明な社会情勢を指して、急速に使われるようになりました。VUCAは、下の4つの単語の頭文字をとった造語です。

V (Volatility : 変動性)

U (Uncertainty : 不確実性)

C (Complexity : 複雑性)

A (Ambiguity : 曖昧性)



今の社会は一筋縄では解決・対応できない問題や前もって対策を立てられない問題が多く、またそれがさまざまな分野にわたっています。例えば、以下のようなものがあげられます。

- デジタル技術の急速な進化
- 気候変動・海洋汚染など、環境破壊の深刻化
- グローバル経済が引き起こす問題の複雑化
- 社会構造の変化(日本国内の人口減少、人生 100 年時代、世界的な人口爆発)
- 新型コロナウイルスによる世界的なパンデミック

#### ★AAR サイクルとは★

これまでは PDCA サイクルという言葉がよく聞かれました。PDCAとはP(計画)D(実行)C(評価)A(改善)になります。

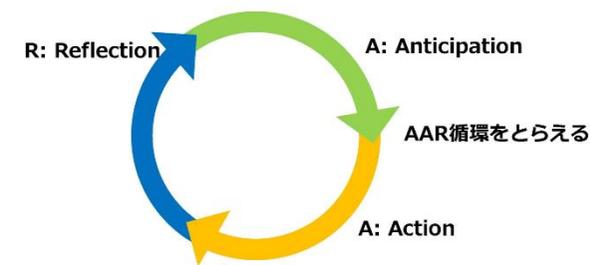
しかし、VUCAの時代にPDCAサイクルは通用しません。なぜなら、世界が目まぐるしく変動し、計画を立てるための前提が次々と変わるためです。前提が変われば計画も立て直さなければならなくなります。いつまでもPlan-Plan-Plan-Plan……と計画ばかり立てることになります。

VUCAの時代に必要なのはAARサイクルだと言われています。

A (Anticipation : 予測・見通し)

A (Action : 行動)

R (Reflection : 振り返り)



「見通し」をすることで、様々な障壁をあらかじめ考慮でき、ある程度防ぐことができます。「行動」は実際に行動に移すことです。「見通し」の段階で、シミュレーションしたことや、考えた目標を元に、実際に行動してみます。「振り返り」では、自分自身の行動を客観的に評価します。この時、「行動」が本来目指したような形で行われたかどうかを客観的に振り返ります。自分自身の行動を客観的にとらえることで、課題や課題解決方法が見つかり、また新たな「見通し」が生まれます。これがAARサイクルです。

**あれ？ 気づきましたか？ そうです。みなさんが「もりすけ」でやっていることです。**